3歳児 I期

この期の子どもの姿と読み取り

新入園児

- ・初めは、保護者と離れることを嫌がって泣いたり、慣れない園生活への不安から固い表情で過ごしたりする子どもがいるが、保育者と一緒に過ごしたり友達と遊んでいる遊びを見たりしながら少しずつ不安になる時間が短くなっていく。特に登園時は泣くことが多いが、保育者と触れ合いながら前日にしていた遊びや興味がありそうな遊びと一緒に探すやすぐに遊び始める子どももいる。保育者がいることや好きな遊びがあることで安心できるようになってくる。(健康な心と体、自立心)
- ・保育者と一緒にウサギやカメ、ダンゴムシなど身近な小動物に触れたり、草花を摘んだり実を集めたりして遊ぶことで気持ちがほぐれてくる子どもがいる。(自然とのかかわり、健康な心と体)
- ・保育者に親しみをもつようになり、保育者のする遊びに興味を示したり、近くで過ごしたり、スキンシップを求めたりする。作ったものや発見したものを見せにきたり、一緒に遊ぼうと誘ったりすることも増えてくる。保育者との一対一の関わりを喜んでいるようだ。(健康な心と体)
- ・興味をもった物事に見たり触れたりして、自分なりに気づいたりおもしろさを感じたり驚いたりして楽しんでいる。それぞれに興味をもって遊ぶことが楽しいようだ。自分のプラレール、自分のスコップ、自分の車など、それぞれが自分の好きな遊具を使って遊ぶことを楽しんでいる。自分のものがあることで安心し、遊びを続けられるようだ。徐々に同じ場所で同じ遊びをしている友達に関心を向け、短い時間ではあるが、2・3人の幼児で遊ぶことがある。(協同性)
- ・保育室で集まったときには、名前を呼んだりピアノに合わせて歌ったり踊ったり絵本を見たりすることを楽しむようになる。緊張からか周りをじっと見ているだけの子どももいたが、友達の楽しそうな様子を見ることで少しずつ表情がほぐれてきている。保育者やクラスのみんで過ごす時間や空間に心地よさを感じてきているようだ。(協同性)
- ・身支度や片付けなどは、個人差が大きい。一つずつやり方を伝えながら一緒にし、励ましたり認めたりすることで少しずつ自分でやってみようとする子どもが増えてくる。できるようになったことや頑張っていることを保育者に認められたり励まされたりすることが嬉しいようだ。しかし、まだまだ片付けや身支度に気持ちが向かず、すぐに遊び出そうとしたり、一緒にやることを拒んだりする子どももいる。(自立心)

ねらい

新入園児

教育○興味のある遊びを見つけ、自分なりの楽しさを感じる(創造する)

○保育者に親しみを持ち、安心して園生活を過ごす。(人とともに)

○幼稚園の生活の仕方を知り、保育者に手伝ってもらいながらできるようになったことを喜ぶ。(地球の中で)

養護○個々の体調を把握し、快適で安定した生活ができるようにする。

○一人一人の子どもの気持ちや欲求を受け止め、信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。

内容

- ・好きな遊びや好きな場所を見つけて遊ぶ(健康)
- ・身近な春の生き物や草花を見たり触れたりして遊ぶ(環境)
- ・保育者と話したり一緒に遊んだりして楽しむ(言葉、人間関係)
- ・保育者や友達のことに関心をもつ(人間関係)
- ・保育者や友達と一緒に歌ったり手遊びをしたりすることを楽しむ(人間関係)
- ・保育者と一緒に身の回りの始末や着替え、用便など園生活の仕方に慣れる(健康)
- ・挨拶をしたり呼ばれたら返事をしたりする(言葉)

育ちが期待される資質能力

- ・周りの人やものの存在を感じ、気付く(多面的・総合的に考える力)
- ・保育者に言葉や動き、表情などで自分の思いを伝える(コミュニケーションを行う力)
- ・自分の安心できることや場所、方法を見つける(進んで参加する態度)

進級児

- ・満3歳児クラスからの進級児の為、ほとんどの子どもが園への親しみを持っている。(健康な心と体)
- ・年少組に進級したことで、新しい担任、新しい保育室、新しい生活の流れなど大きな環境の変化があり、不安から泣いたり、戸惑いから固い表情で過ごしたりしている子どももいる。保育者と一対一で関わったり、以前から遊んでいたおもちゃや友達と遊んだりしながら、それぞれのペースで新しい環境に慣れ安定していく。(自立心)
- ・新しい担任になり、担任が変わることへの戸惑いを感じて以前の担任の様子を窺ったりする姿が見られるが、新しい担任と一緒に遊んだり、過ごしたりする中で次第にぶどうぐみの担任が自分のクラスの先生であることを少しずつ自覚し、新しい担任に積極的に関わろうとするようになる。(協同性、自立心)
- ・カラスノエンドウやダンゴムシなど、身近な自然物を見つけたり、集めたりすることを楽しむ姿が見られる。見つけたものを担任に見せながら気づいたことを知らせてくる姿が見られる。毎日、繰り返し見つけていく中でそれぞれの大きさや色の違いなどを感じている子もいる。(自然との関わり・生命尊重、思考力の芽生え)
- ・友達が遊ぶ姿を見て、自分もしたいと真似をして遊ぶ姿が見られる。友達がしている面白そうな遊びに興味をもって真似をしながら遊ぶことを楽しむ子が見られるようになる。(思考力の芽生え)
- ・同じ場で遊んでいても、そこにある環境の中で自分が興味のあることをしてみたり、保育者と関わることで安心して遊んだりする姿が見られる。同じ場で、それぞれのペースで自分なりに面白さを感じながらしたい遊びを楽しむ。(思考力の芽生え)
- ・保育者に自分のしていることや、感じたこと、見つけたものを見てもらい認めてもらうことを喜ぶ様子が伺える。また、繰り返すうちにさらに自分なりに違う気づきや自分で考えた動きを聞いてもらったり、見てもらったりしようとする。(言葉による伝え合い)
- ・満三歳児クラスから一緒に過ごしている友達の名前を呼んだり、困っている友達に声をかけたりしながら、お互いの存在を感じる中で自分なりに思いやりをもって関わる様子が伺える。(協同性、道徳性・規範意識の芽生え)
- ・保育者や友達と歌を歌ったり、何かになりきって動いたり、体操をしたりなど、クラスの友達とする活動に喜んで参加するようになる。その中で、自分なりに考えた動きやなりきりたいものを考え表現するようになってくる。(協同性、豊かな感性と表現)

ねらい

教育○新たな環境で、自分の興味のあるものをみつけて遊ぶ。【創造する】

○保育者に信頼を寄せたり、友達に親しみを持ったりしながら、安心して過ごす。【人とともに】

○進級したクラスの生活や環境に慣れ、自分なりのペースで身の回りのことをやってみたり、遊びを見つけて楽しんだりする。【地球の中で】

養護○一人一人の健康状態や心身の状態を把握し、快適に生活できるようにする。

○一人一人の気持ちを受容し、共感しながら、安心感を持って過ごせるようにする。

内容

- ・自分がしたい遊びを見つけて楽しむ。(健康・環境)
- ・自分の慣れ親しんだ遊具や用具を使って遊ぶ。(環境)
- ・保育者に対して、信頼を寄せ、思ったこと、見たことを言葉で伝えようとする。(言葉・表現)
- ・保育者や友達がしていることを面白いと感じ、真似をして遊ぶ。(人間関係)
- ・友達や保育者が困っている場面で案を出したり、駆け寄って様子を見守ったりして、思いやりを持って接する。(人間関係)
- ・クラスの友達と一緒にする活動を楽しむ中でも、自分なりの面白い動きを見つけて遊ぶ。(表現・人間関係)
- ・保育者の援助を受けながら、自分なりに園の生活の仕方を知り、慣れようとする。(健康)

発揮される資質能力

- ・自分の身の回りにある身近な自然や友達、保育者などの存在を感じながら興味のあるものに自分なりに関わろうとする。(進んで参加する態度)
- ・保育者に自分の気づいたことや思ったことを伝え受け止めてもらうことを喜び、繰り返し言葉や態度で伝えようとする。(コミュニケーションを行う力)
- ・進級し、新しい環境になっても、自分と幼稚園の繋がりを感じて、自分が以前から遊んでいたものや友達などに親しみを持って進級クラスの園生活に慣れていこうとする。(他者と協力する態度)

Ⅱ期

この期の子どもの姿と読み取り

- ・幼稚園の生活に慣れ、喜んで登園できるようになってくる。しかし、これまで泣かずに頑張っていた子どもが泣いたり、ちょっとしたことで機嫌が悪くなったりすることもあり、まだまだ不安定な様子を見せることもある。(健康な心と体)
- ・自分の気に入った遊具や場所がみつき、自分から遊具を選んで遊び始めたり前日と同じ遊びをしたりするようになり、自ら遊ぼうとする気持ちが高まってくる。(健康な心と体)
- ・保育者と一緒に遊ぶ中で、近くにいる友達存在を気にかけるようになる。名前を覚えて呼んだり、一緒に遊ぼうとしたりする子どももいる。また、友達に関心を示さずに遊具で遊んだり保育者を求めたりする子どももおり、友達への関心の持ち方は個人差がある。(協同性)
- ・友達と同じものを持っていることやものの受け渡しをすることを嬉しそうにしたり、同じ言葉を言い合ったり追いかかけ合ったりするなど、ちょっとしたやり取りを喜んだりする。それぞれに楽しみを見つけつつ、保育者や友達とかかわりをもつことが楽しくなっているようだ。(言葉による伝えあい)
- ・クラスみんなで集まった時には、楽しいことがあるということがわかり始め、何をするのかを尋ねたり、自分のやりたいことを伝えたりと、期待をもって参加しようとする姿がある。(協同性)
- ・保育室周辺の自然物や飼育動物などに関心を寄せ、自分からすすんで見たり触れたりするようになる。また、園内の様子がわかり始め、生き物がいる場所や草花が咲いている場所をめぐって自ら出かけていこうとする子どもが増えてくる。(自然とのかかわり)
- ・水遊びが始まり、ほとんどの子どもが気持ちを解放させて遊ぶようになる。水へのかかわり方は個人差があり、濡れることを嫌がったり恐がったりする子どももいるが、少しずつ水に触れる心地よさなどを感じて遊ぶ姿がある。保育者や友達がいることで少しずつ安心し、それぞれに水の感触を楽しんでいるようだ。(豊かな感性と表現)
- ・園生活の流れが少しずつわかるようになり、身の回りのことなど、手伝いが必要だった子どもが自分でできることを頑張ろうとする姿が見られる。これまで気持ちが向きにくかった子どもは、保育者が見通しを伝えながら一緒にすることで、自分でできたことを喜ぶ姿が見られる。まだ個人差は大きいですが、毎日の繰り返しのなかで園生活の流れが少しずつわかってきて、自分でしようとする意欲が芽生えてきているようだ。(自立心)

ねらい

教育○興味のある遊びを見つけ、自分なりのおもしろさを感じて繰り返し楽しむ。(創造する)

○保育者や友達に親しみを持ち、一緒に過ごすことを楽しむ(人とともに)

○簡単な身の回りのことを自分でしようとする。(地球の中で)

養護○夏季の保健衛生に留意し、一人一人の子どもが健康で安全に生活できるようにする。

○自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。

内容

- ・いろいろな遊具や用具に関心をもち、自分で使ってみようとする。(環境)
- ・水や土、砂などに触れて遊ぶ心地よさを十分に味わう。(環境)
- ・身近な草花や生き物を見たり触れたりして親しみをもつ。(環境)
- ・好きなものになって遊ぶことを喜ぶ。(表現)
- ・したいことやしてほしいことを動作や言葉で伝えようとする。(言葉)
- ・保育者の話を喜んで聞く。(言葉)
- ・保育者や友達と一緒にいろいろな遊びをする。(人間関係)
- ・保育者や友達のしていることに興味をもち、真似たり触れあったりして遊ぶ。(人間関係)
- ・歌ったり体を動かしたりすることを楽しむ。(表現)
- ・手洗いや用便、衣服の着脱などを自分でしようとする。(健康)

育ちが期待される資質能力

- ・身の回りのことが少しでも自分でできる(進んで参加する態度)
- ・身近なものに関心をもち、好きなことを繰り返し楽しむ。(進んで参加する態度)
- ・身近なものに自分からかかわって遊ぶ(進んで参加する態度)
- ・クラスの友達に親しみをもつ(コミュニケーションを行う力)
- ・保育者に受け止めてもらえる心地よさを感じる(コミュニケーションを行う力)

Ⅲ期

この期の子どもの姿と読み取り

- ・夏休み明けは、園生活に慣れるまでに戸惑う子どもも見られ、遊びに取り掛かりにくかったり、登園をしぶったりする姿もある。また、実習生がいることで喜ぶ子どもが多い一方で、中には不安になる子どももいる。保育者や友達と1学期に慣れ親しんだ遊びをすることで、徐々に園生活のリズムを取り戻すようになる。(健康な心と体)
- ・それぞれに自分のやりたい遊びを見つけられるようになってきて、自分から遊びだすようになる。それを繰り返し楽しんだり、次はどのようにするのかを考えたりするなど、少しずつ思いが持続するようになる。(思考力の芽生え)
- ・友達のしている遊びに関心を寄せ、友達の名前を覚えて呼んだり言葉を交わしたりして遊ぶようになる。同じように取り組もうとしたり、同じもので遊ぼうとしたり、同じようなイメージで遊んだりして、一緒に遊んでいると感じるようになる。(協同性)
- ・自分の思いを保育者や友達に伝えようとする姿が見られる。思いがうまく伝わらずに友達とぶつかりあうこともあるが、少しずつ相手に思いがあることに気付くようになる。(協同性)
- ・運動会やみんなでする活動で、思い切り走ったり、同じ学年の友達と同じようなイメージで遊んだり、リズムによって体操をしたりすることを共に経験することで、大勢の友達と一緒に過ごす楽しさがわかるようになる。(社会生活)
- ・保育室内や周辺の環境に慣れ、遊びに必要なものを自分で選んだり探したりし、自分たちの遊びの場に必要なものを運び込んだりするようになる。(思考力の芽生え)
- ・身近な生き物や木の実などの身の回りの環境に関心を寄せるようになり、じっくり見たり、触ったり、集めたりして遊ぶ。(自然とのかかわり)
- ・思いきり走ったり、跳んだりすることを楽しむようになる。何度も繰り返し走ったり跳んだりするうちに、自分の思うように体が動かせるようになっていたり、以前よりも早く走ることができるようになったことを喜び、さらに意欲的に体を動かすようになる。(健康な心と体)
- ・自分の身の回りのことでできるようになることが増え、自分で頑張ろうとしたり保育者のすることを真似たり手伝ったりするようになる。片付けが終わったら椅子を持ってきたり、汚れたら自分で着替えようとしていたり、自分なりに見通しをもってやろうとする姿が増えてきた。(自立心)

ねらい

教育○自分なりの思いをもって興味のあることを存分に楽しむ。(創造する)

○友達に親しみ、一緒に過ごしたり同じようなイメージで遊んだりすることを楽しむ。(人とともに)

○自分なりの見通しをもっていろいろなことをやってみようとする。(地球とともに)

養護○季節の変化や活動の内容に応じて衣服の調節や休息を行い、心地よく過ごせるようにする。

○子どもの気持ちに共感し、一人一人の成長を認め、自信がもてるようにしていく。

内容

- ・戸外で体を動かして遊ぶ。(健康)
- ・いろいろな遊びを自分からやってみようとする。(環境)
- ・身の回りの自然に興味をもち、触れたり集めたりする。(環境)
- ・身近な素材や用具で好きなものをかいたり作ったりする。(表現)
- ・音楽によって歌ったり体を動かしたりする。(表現)
- ・身近な遊具や用具を自分なりに遊びに使おうとする。(環境)
- ・保育者や友達のしていることに興味をもち、真似たり一緒に遊んだりする(人間関係)
- ・保育者や友達と同じようなイメージで遊ぶ(人間関係)
- ・関心をもって保育者の話を聞く(言葉)
- ・自分の身の回りのことをできるだけ自分でしようとする。(健康)

育ちが期待される資質能力

- ・遊びに必要なものを選び、使おうとする(進んで参加する態度)
- ・自分でできることに意欲的に取り組もうとする(進んで参加する態度)
- ・好きなことを繰り返しさらに面白さを感じる(多面的・総合的に考える力)
- ・相手に思いがあることがわかる(コミュニケーションを行う力)
- ・大勢の友達と遊ぶ雰囲気を感じる(コミュニケーションを行う力)

IV期

この期の子どもの姿と読み取り

- 自分のしたいことを見つけ、繰り返し楽しんでいる。何日も繰り返して遊ぶうちに、その場に一緒にいる友達と面白さが共有され、また繰り返して遊びが続き、同じようなイメージで遊ぶことが楽しくなってくる。(健康な心と体)
- 運動会などで年長がしていたりレー遊びなどに興味をもって同じように遊ぼうとする姿が見られる。他のクラスや異年齢の友達にも興味がでてきて、遊ぶ様子を見たり仲間入りしたりする姿も見られる。大勢の友達と簡単なルールで体を動かして遊ぶことが楽しくなってきたりするようだ。(健康な心と体、自立心)
- 木の実や葉っぱなど園内の自然物を見たり、触れたり、集めたり、遊びに使ったりしている。身近な環境に興味が高まり遊びに取り入れている。(自然とのかかわり、思考力、数量)
- 友達のしていることをみて、自分なりにやってみようとする姿が多くみられる。真似をして同じことをしたり、自分なりに考えて変化を加えたりしながら、遊ぶようになる。(協同性、言葉)
- 自分のしたいことをする中で、同じ場で遊ぶ友達と一緒にいることが増え、相手の様子が気になったり、真似をしたり一緒にいたい友達が出てきて、誘ってあちこちに行ったり一緒にいたい友達と横に座って給食を食べたりすることが増える。そばにいる心地よさを感じ、一緒にいたい友達や気の合う友達との関係が深まってくる。(協同性)
- 友達の様子を見て、「自分もやってみよう」と、これまでしていなかったことにも挑戦しようとする姿が見られるようになる。土山から走り降りたり、乗り物で滑り降りたり、鉄棒に足をかけてぶら下がったりなど、少し難しいと思われるようなことに意欲的に取り組もうとする。(自立心)
- 自分の感じること、思ったことを表情や言葉、行動など様々な方法で表し、保育者やクラスの友達に伝えようとする。(言葉)
- クラスの中での居場所ができ、安定した気持ちで過ごすことができるようになる。保育室に集まった時などに、顔を見合わせて笑いあったり、名前を積極的に読んだり、手をつないだり、やりとりをしたりする様子が見られ、同じクラスの友達への親しみを持ち、いろいろな友達とかわかってくる。(協同性)
- 登降園時のルーティンワークや、着替えなど自分の身の回りのことを自分なりに見通しをもって、保育者の手助けなしでできることが増えてきている。(自立心)

ねらい

- 教育○自分なりの思いをもって面白いと感じたことを繰り返し楽しむ。(創造する)
- 友達とおもしろさを共有して、同じ場で過ごしたり一緒に遊んだりすることを楽しむ。(人とともに)
 - 遊びや生活の中で、少し先のことに期待感をもって自分でできることに取り組もうとする。(地球とともに)
- 養護○手洗いうがいなどの感染症予防について知らせ、健康に生活ができるようにする。
- 適度な運動と休息がとれるようにし、子どもが意欲的に生活できるようにする。

内容

- ・自分のしたいことに合わせて遊具や用具を選んで使う。(環境)
- ・遊具や用具を大切に、友達と分け合ったり順番に使ったりする。(環境、人間関係)
- ・身近な素材や用具を使ってかいたり作ったり見立てたりして遊ぶ。(表現)
- ・いろいろな遊びに興味をもって繰り返し遊ぶ。(健康)
- ・体を動かす遊びに興味をもってやってみようとする。(健康)
- ・木の葉や木の実などの自然物を集めたり使って遊んだりする(環境)
- ・友達と同じようなイメージで遊ぶ。(人間関係、言葉)
- ・保育者と一緒に簡単なルールを守って遊ぶ。(人間関係、言葉)
- ・自分の経験したことや思ったことを保育者や友達に話そうとする(人間関係、言葉)
- ・遊びに必要な簡単な言葉のやり取りを楽しむ。(言葉)
- ・音楽に合わせて動いたり楽器を鳴らしたりすることを喜ぶ。(表現)
- ・身の回りのことをできるだけ自分でしようとする。(健康)

育ちが期待できる資質能力

- ・自分の思いや自分なりのイメージをもつ(多面的、総合的に考える力)
- ・好きなことに繰り返し取り組もうとする(進んで参加する態度)
- ・遊びに必要なものを選び、使おうとする(進んで参加する態度)
- ・身近な自然の変化に関心を持ちかかわろうとする(進んで参加する態度)(繋がりを尊重する態度)
- ・自分で行動することに喜びを感じる(進んで参加する態度)
- ・人と一緒に遊びを面白くしようとする力(コミュニケーションを行う力)
- ・先生に自分の思いや要求を伝えようとする(コミュニケーションを行う力)
- ・先生や友達の言葉を聞こうとする(他者と協力する態度)
- ・少し先のことに期待感をもって、できることに取り組もうとする(未来像を予測して計画を立てる力)

V期

この期の子どもの姿と読み取り

- 自分から遊びをみつけて取り組み、そこでの遊びの楽しさを感じながら、じっくり満足するまで遊びを長く続けられるようになってくる。
楽しかった遊びを何日も続けてしようとする子どもも多くなる。(思考力の芽生え)
- 自分の思いを表現しようとする気持ちが強くなり、保育者や友達に認めてもらうことに喜びを感じるようになる。(豊かな感性と表現)
- 遊びや生活の中でいろいろなことに自信をもち、自分から積極的に取り組もうとする姿が多くなる。保育者に頼らず、生活に必要なことをしたり、自分たちで楽しく遊んだりする力が育ってくる。(自立心)
- 自分の思いを素直に出して表現したり、友達とかかわったりするようになる。それとともに、友達の気持ちにも気付くようになり、一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようになる。同じ場で遊ぶ友達とのやりとりが活発になり、遊びが少しずつ変化したり、面白さが増したりしていく。友達と遊ぶことで遊びが面白くなることを感じている。(協同性)
- 友達と同じようなイメージをもちながら遊ぶなかで、自分の思いを表したり、相手の思いを聞いたり見たりして、“ごっこ”や“つもり”のイメージを友達と共有することがさらに楽しくなってくる。(豊かな感性と表現)
- 友達が困っていたり泣いたりしたとき、手助けをしたりなぐさめたりするなど、友達に対する思いやりの気持ちが芽生え、自分なりの解決方法を伝えようとする姿が見られる。(言葉による伝えあい)
- クラスの活動での内容がわかり、クラスの友達と一緒にすることや過ごすことに楽しさを感じながら参加するようになる。気持ちの向け方はそれぞれであるが、自分なりの方法で参加しようとする。(協同性)
- 年少組2クラスで一緒に生活し、これまでよりもたくさんの友達と過ごす雰囲気を感じ、年中組の保育室で遊ぶ機会をもつことで保育室がかわることがわかるなど、少しずつ進級への期待をもてるようになっていく。(自立心)

ねらい

教育○自分なりのイメージや思いをもって存分に遊ぶことを楽しむ(創造する)

○友達とやりとりをしたり、誘い合ったりして、かかわりながら遊ぶことを楽しむ(人とともに)

○自分でできることが増えていくことを喜び、いろいろなことに頑張ったり取り組もうとする(地球の中で)

養護○流行性疾患に留意し、子どもの健康状態を把握し、体調の変化に適切に対応する。

○保育者との信頼関係のもと、自信をもって自分の力を発揮できるようにする。

内容

- ・寒さに負けず戸外で体を動かして遊ぶ(健康)
- ・かるたや絵合わせなど伝承遊びに興味をもち、保育者や友達と遊ぶ。(言葉)
- ・素材や用具を使ってかいたりつくったりして遊ぶ。(表現)
- ・氷や霜など冬の自然に触れて遊ぶ。(環境)
- ・保育者や友達と言葉を交わしながら遊ぶ。(言葉)
- ・友達と一緒に歌ったり楽器を鳴らしたり体を動かしたりする。(表現)
- ・クラスでの活動や遊びに気持ちを向けて参加する(人間関係)
- ・好きなものになりきって遊ぶ。(表現)
- ・自分でできたことに自信をもつ。(健康)
- ・したことや見たこと、思ったことなどを喜んで話す。(言葉)
- ・保育者や友達の話に興味をもって聞く。(言葉)

育ちが期待できる資質能力

- ・自分の思いや自分なりのイメージで遊ぶ(進んで参加する態度)(多面的・総合的に考える力)
- ・友達と一緒に遊びを面白くしようとする(他者と協力する態度)(コミュニケーションを行う力)
- ・先生や友達に自分の思いや要求を伝えようとする(コミュニケーションを行う力)